

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クロスキャット

コード番号 2307 URL <http://www.xcat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 貴功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 三嶋 峰雄

TEL 03-3474-5251

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,293	—	280	—	294	—	215	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 215百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	25.21	—
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,157	—	2,346	—	—	56.4
27年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,346百万円 27年3月期 100百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,500	—	430	—	450	—	270	—	31.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社クロスユーアイエス、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	9,210,960 株	27年3月期	9,210,960 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	683,494 株	27年3月期	593,494 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,566,318 株	27年3月期2Q	8,617,466 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成28年3月期第1四半期より連結決算へ移行しました。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前事業年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和のもとで、景気は緩やかに回復を続けているものの、中国経済の減速感が鮮明になり、先行き不透明な状態が続いております。当社グループが属する情報サービス業界は、政府の成長戦略に「IoT」や「ビッグデータ活用」等のIT技術の積極活用が織り込まれ、さらに「マイナンバー制度」の開始も控えて新たな需要が期待されるなか、企業収益の改善を背景に設備投資意欲も高まり堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは、新たな中期経営計画「Innovation Fast 2017」を策定し、継承すべき事項と変革すべき事項を明確化し、中核ビジネスであるシステム開発の安定拡大、さらには新サービスの創生と伸長を図り、また、取得した子会社との相乗効果による業容拡大を目指し、Nextステージに向かって成長して参ります。

当第2四半期連結累計期間では、銀行向けは好調に推移し、クレジット向けが回復しました。また、6月から連結の範囲に含めた子会社が寄与したことにより、売上高は4,293百万円、営業利益は280百万円、経常利益は294百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は215百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、4,157百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金739百万円、受取手形及び売掛金1,803百万円、投資有価証券333百万円であります。

負債につきましては、1,811百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金300百万円、買掛金352百万円、退職給付に係る負債346百万円であります。

純資産につきましては、2,346百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金1,928百万円、資本金459百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、56.4%となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、739百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、402百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益 293百万円、売上債権の減少 359百万円等による資金の増加があったことに対し、たな卸資産の増加 123百万円、法人税等の支払額 138百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、702百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 371百万円、敷金及び保証金の差入による支出 175百万円、投資有価証券の取得による支出 90百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、49百万円となりました。これは、短期借入金の増加 100百万円の資金の増加があったことに対し、配当金の支払額 103百万円、自己株式の取得による支出 46百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月16日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式取得により子会社化した株式会社クロスユーアイエスを連結の範囲に含めております。

なお、第1四半期連結会計期間の末日をみなし取得日としているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結としており、第2四半期連結会計期間より損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書を連結しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローを「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	739,444
受取手形及び売掛金	1,803,128
仕掛品	190,587
繰延税金資産	124,614
その他	36,475
貸倒引当金	△1,799
流動資産合計	2,892,450
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	261,328
減価償却累計額	△185,219
建物及び構築物（純額）	76,108
車両運搬具	8,191
減価償却累計額	△6,342
車両運搬具（純額）	1,849
工具、器具及び備品	141,245
減価償却累計額	△68,270
工具、器具及び備品（純額）	72,974
土地	32,998
建設仮勘定	4,860
有形固定資産合計	188,790
無形固定資産	
のれん	226,330
ソフトウェア	66,778
その他	12,780
無形固定資産合計	305,888
投資その他の資産	
投資有価証券	333,245
敷金及び保証金	278,924
繰延税金資産	70,519
その他	87,986
投資その他の資産合計	770,674
固定資産合計	1,265,354
資産合計	4,157,804

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	352,319
短期借入金	300,000
未払法人税等	129,708
賞与引当金	253,342
資産除去債務	68,792
その他	320,411
流動負債合計	1,424,574
固定負債	
退職給付に係る負債	346,151
資産除去債務	16,911
長期末払金	21,000
繰延税金負債	3,103
固定負債合計	387,165
負債合計	1,811,739
純資産の部	
株主資本	
資本金	459,237
資本剰余金	61,191
利益剰余金	1,928,380
自己株式	△183,563
株主資本合計	2,265,245
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	50,736
退職給付に係る調整累計額	30,083
その他の包括利益累計額合計	80,819
純資産合計	2,346,064
負債純資産合計	4,157,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,293,665
売上原価	3,383,366
売上総利益	910,299
販売費及び一般管理費	630,064
営業利益	280,235
営業外収益	
受取利息	103
受取配当金	4,097
保険配当金	5,964
その他	4,499
営業外収益合計	14,665
営業外費用	
支払利息	647
支払手数料	124
営業外費用合計	772
経常利益	294,127
特別損失	
固定資産除却損	514
特別損失合計	514
税金等調整前四半期純利益	293,613
法人税、住民税及び事業税	118,168
法人税等調整額	△40,481
法人税等合計	77,687
四半期純利益	215,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,926

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
四半期純利益	215,926
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,911
退職給付に係る調整額	1,104
その他の包括利益合計	△807
四半期包括利益	215,118
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	215,118
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	293,613
減価償却費	62,021
のれん償却額	8,382
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△210
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,255
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,019
受取利息及び受取配当金	△4,201
支払利息	647
売上債権の増減額(△は増加)	359,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△123,515
仕入債務の増減額(△は減少)	23,274
その他	△130,023
小計	537,909
利息及び配当金の受取額	4,201
利息の支払額	△536
法人税等の支払額	△138,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	402,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△33,364
無形固定資産の取得による支出	△31,884
投資有価証券の取得による支出	△90,001
敷金及び保証金の差入による支出	△175,836
敷金及び保証金の回収による収入	388
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△371,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000
自己株式の取得による支出	△46,350
配当金の支払額	△103,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,759
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,556
現金及び現金同等物の期首残高	1,089,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	739,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

当社は、第1四半期累計期間より連結決算に移行しており、前第2四半期連結累計期間の財務諸表がないため、参考資料として前第2四半期累計期間の損益計算書を掲載しております。

要約四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	3,912,018	—
売上原価	3,188,560	—
売上総利益	723,457	—
販売費及び一般管理費	517,980	—
営業利益	205,477	—
営業外収益	19,897	—
営業外費用	446	—
経常利益	224,928	—
税引前四半期純利益	227,699	—
法人税、住民税及び事業税	95,406	—
法人税等調整額	△7,964	—
法人税等合計	87,442	—
四半期純利益	140,257	—

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	—	4,293,665
売上原価	—	3,383,366
売上総利益	—	910,299
販売費及び一般管理費	—	630,064
営業利益	—	280,235
営業外収益	—	14,665
営業外費用	—	772
経常利益	—	294,127
税金等調整前四半期純利益	—	293,613
法人税、住民税及び事業税	—	118,168
法人税等調整額	—	△40,481
法人税等合計	—	77,687
四半期純利益	—	215,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	215,926